

島根県における飼料生産組織の取組事例について



ライスフィールド株式会社
代表取締役 吉岡 雅裕

R5.12.11 令和5年度中国四国地域飼料増産推進研修会 事例発表資料

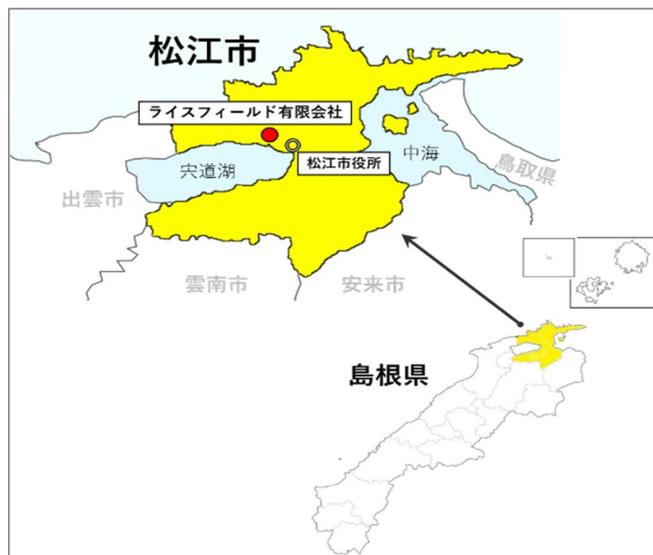
1 会社概要



法人名：ライスフィールド株式会社
所在地：島根県松江市下佐陀町
設立：平成14年7月17日
事業内容：水稻の栽培及び出荷販売、そばの栽培
WCS用稲の生産（コントラクター）
稲わら収集及び堆肥散布（耕畜連携）
無人ヘリ防除（水稻、大豆）
農作業の受託

従業員数：16名

経営面積：栽培面積約230ha + 作業受託約410ha



(単位：ha)

年度	部門	主食用米・酒米	WCS用稲	そば	合計
R元		132	18	2	142
R2		143	15	2	160
R3		178	17	2	197
R4		199	29	2	231



2 畜産農家との関わり

▶ WCSの供給

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
生産面積 (ha)	25.5	35.5	42.5	53.7	68.7	70.8	64.2	62.3	67.2	65.8	60.5	61.4	66.0
生産数量 (ロール)	1,848	2,447	3,123	4,253	5,170	4,833	5,065	4,201	4,874	4,467	3,975	4,880	4,883
構成人数 (経営体)	14	17	17	28	34	33	30	28	24	23	21	17	17

供給地域	供給戸数
松江市、雲南市、奥出雲町、飯南町、出雲市、大田市、隠岐郡	20戸

▶ 稲わらの供給

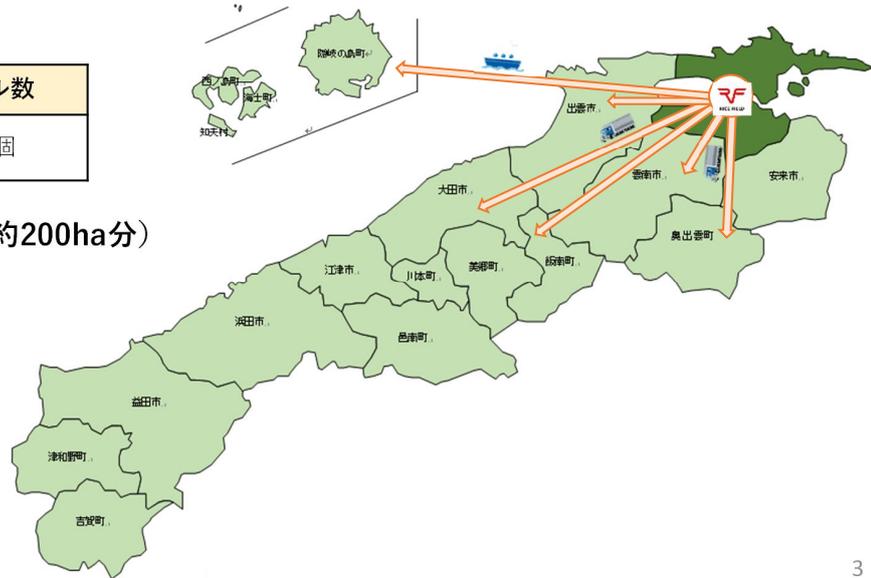
供給地域	供給戸数	供給ロール数
奥出雲町、大田市	3戸	約5,000個

▶ もみ殻の供給 WCS供給先へ全量 (主食用米約200ha分)

▶ 堆肥の購入 散布量約1,200トン

※WCS供給先の畜産農家より購入

▶ 畜産農家からの要望により、 飼料用とうもろこしの栽培試験を実施中



3

3 スマート農業技術の導入

▶ 栽培管理 (所有機械一覧)

機械名	台数	規模・能力等
トラクター	15	54~155馬力、ロボットトラクター1台含む
田植機	6	6条2台・8条4台、可変施肥田植機含む
コンバイン	5	6条5台、収量コンバイン含む
トラック・積載車	11	2~8トン
無人ヘリコプター	2	
細断型WCS収穫機	2	
ラップマシーン	4	
マニュアルプレッター	1	
色彩選別機	3	
乾燥機	16	100石8台、55石8台
初摺機	3	
レーザーレベラー、ディスクプラウ、 パーチカルハロー	一式	



▶ 作業管理

栽培管理システム (アプリ) の導入、地力マップ・生育マップの試行

▶ 水管理

管理状況の共有システムを松江工業高等専門学校と共同開発中

4

▶ GAPの実践と認証取得

島根県版GAP認証「美味しまねゴールド」を取得（第1号）

～美味しまねゴールド内の農作業安全に関する基準ポイント（抜粋）～

- ・危険な場所や危険な作業に関するリスク評価を行い、事故やけがを防止する対策を講じているか。（ポイント4.1.1）
- ・危険な作業を実施する作業者は、安全のための教育・訓練を受けているか。（ポイント4.1.2）
- ・事故や緊急事態の対応はすべての作業者に明確に理解されているか。緊急時の手順は表示されているか。（ポイント4.2.1）
- ・機械・設備及び運搬車両をリスト化し、適切に点検・整備・清掃・保管しているか。（ポイント4.4.1）

▶ 作業意識・環境の改善

外部トレーナーを招聘し、社員の意識・環境改善を实践



美味しまねゴールド

島根県観光キャラクター「しまねっこ」島根県庁前番路1830号

- 美味しまね認証は、産品が県の定めたGAP（農業生産工程管理）基準に基づき生産されていることを認証する県のGAP認証制度です。
- 美味しまねゴールドでは食の安全、環境保全、作業者の安全などに配慮し持続的な農業を实践するための125の基準※を設けています。（※青果物の場合）この基準をクリアし認証を受けた産品のみが、認証マークを表示できます。

美味しまね認証を受けた生産者は、県が定めた基準に基づいて、栽培、収穫から保管、包装など一つひとつの作業について、点検項目を定め、記録・確認して生産、出荷しています。

島根県農林水産部 産地支援課
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL:0852-22-6011 FAX:0852-22-6036
 E-mail: oshimane@pref.shimane.lg.jp

5 飼料生産・利用拡大に必要なだと思ふこと

▶ 飼料生産をはじめた当初の課題と対応

▶ 現在の課題

▶ 今後の展望



▶ 飼料の生産・利用拡大に必要なだと思ふこと

- ・耕種農家に求められること
- ・畜産農家に求めること
- ・メーカー、JA、行政等に求めること

～農地の保全・最適な農業経営・人とのつながり～

ライスフィールド株式会社



ご清聴ありがとうございました